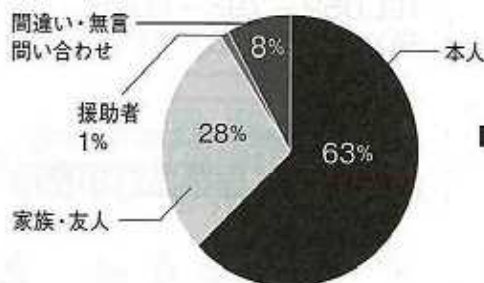


パチンコ依存相談機関が 08年度報告書を発表

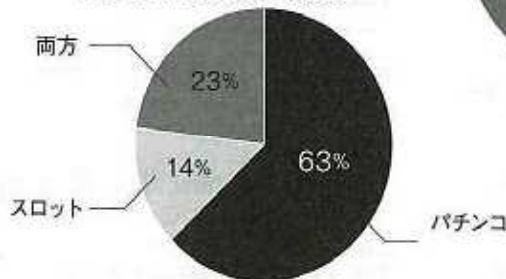
■図表1/総数および月別相談数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2006年度	110	102	82	86	119	90	87	57	38	93	54	71	989
2007年度	72	68	52	50	66	93	72	56	33	46	63	175	846
2008年度	103	114	90	113	98	94	92	83	85	95	108	112	1187
合計	285	284	224	249	283	277	251	196	156	234	225	358	3022

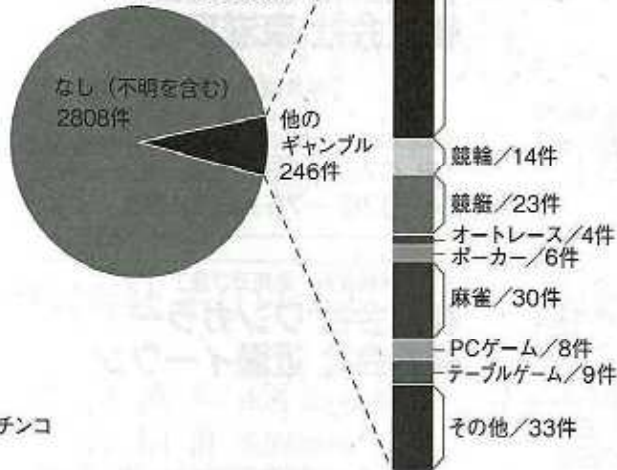
■図表2/電話をかけてきた人と本人との関係性



■図表3/パチンコとパチスロどちらにのめりこんで困っているか?



■図表4/パチンコ以外のギャンブルをするか?



「リカバリーサポート・ネットワーク」(西村直之代表)は5月、08年度の1年間に受けた電話相談の内容をまとめた報告書を発表した。

同機関は、全日本遊技事業協同組合連合会(原田理事長)の支援で設立された団体で、06年4月より活動をスタートし、今年で4年目を迎える。主な活動は、パチンコ・パチスロの依存問題解決のため、悩んでいる人やその家族を対象に、電話で無料相談に応じるというもの。

設立以来3年間に受けた相談件数は、06年度は989件、07年度が846件、そして08年度が1187件で総計3022件に上る。

電話をかけてきた人は本人が63%、家族・友人が28%で、同機関発足以来、初めて本人からの相談が全体の半数以上を占めた。この本人からの相談比率の高さは、アルコール依存や薬物依存など、他の依存問題には見られず、リカバリーサポート・ネットワークの相談の特徴。

対象者の性別は男性が約7割、女性が約3割。「パチンコとパチスロのどちらにのめりこんで困っていますか?」に対する回答では07年度と比べ、パチスロの比率が減少(27%↓14%)、パチンコ(55%↓63%)と両方(18%

↓23%)の比率が増加しており、4号機撤去に伴うユーザーのパチスロ離れを反映する形となっている。

また、パチンコにのめりこんで困っている人の93%がパチンコ以外のギャンブルをしないというデータもあり、「パチンコ依存の特徴の一つではないか」と、報告書では推測している。

次に、「リカバリーサポート・ネットワーク」の電話番号をどこで知ったか」に対する回答では、ホール内ポスターが圧倒的に多く全回答の半数を占め、その数は07年度と比べ2倍以上に増加。これは同機関設立から3年が経過し、多くのホール関係者の賛同、協力を得られた結果といえるだろう。



西村代表

同機関は電話相談のほかにも、パチンコ依存問題に対し、どのようにかわるべきか、専門家を講師に招き講座を開催、全国で講演を行うなどこの問題に積極的に取り組んでいる。西村代表は報告書の中で、「2009年度はこれまでに行った活動を踏まえ、問題整理の援助と必要な情報を提供するサービスを通して、問題の予防と今後の回復支援システムの整備に寄与できるように努力していきます」と述べている。

また、パチンコにのめりこんで困っている人の93%がパチンコ以外のギャンブルをしないというデータもあり、「パチンコ依存の特徴の一つではないか」と、報告書では推測している。

次に、「リカバリーサポート・ネットワーク」の電話番号をどこで知ったか」に対する回答では、ホール内ポスターが圧倒的に多く全回答の半数を占め、その数は07年度と比べ2倍以上に増加。これは同機関設立から3年が経過し、多くのホール関係者の賛同、協力を得られた結果といえるだろう。

同機関は電話相談のほかにも、パチンコ依存問題に対し、どのようにかわるべきか、専門家を講師に招き講座を開催、全国で講演を行うなどこの問題に積極的に取り組んでいる。西村代表は報告書の中で、「2009年度はこれまでに行った活動を踏まえ、問題整理の援助と必要な情報を提供するサービスを通して、問題の予防と今後の回復支援システムの整備に寄与できるように努力していきます」と述べている。

率が増加しており、4号機撤去に伴うユーザーのパチスロ離れを反映する形となっている。